

経営計画策定のための融資取引の基本ガイド

資金調達・評価基準・財務指標を網羅した経営者向け完全ガイド

1. 融資・保証の種類

主な融資形態

- **証書貸付:**
設備投資・長期運転資金(1年超)。
- **手形貸付:**
季節資金・賞与資金(1年以内)。
- **当座貸付:**
極度額内で自由に反復借入※事務負担減、要信用力。

保証・担保の仕組み

- **個人保証:**
経営者の連帯保証。※解除に向けた動き加速中。
- **信用保証協会:**
公的機関による保証。
- **預金担保:**
定期預金を担保に低利借入。
- **不動産担保:**
 - **抵当権:** 特定借入を担保。完済で消滅。
 - **根抵当権:** 極度額を設定し反復利用。

2. 金融検査マニュアル

金融機関による自己査定区分(格付け)

区分	定義
正常先	業況良好で財務問題なし
要注意先	業況低調・条件変更等
要管理先	3ヶ月以上延滞・緩和あり
破綻懸念先	実質的赤字・破綻懸念大

3. 事業性評価

財務データだけでなく、企業の「持続可能性」や「将来性」を総合評価する手法。

- **経営者力:** ビジョン・意欲・資質
- **事業の強み:** 市場優位性・技術力
- **組織力:** 人材定着・管理体制
- **SWOT分析:** 強み・機会の活用

4. 健全性を示す重要指標

格付け評価の基礎となる数値目標

① 債務償還年数

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{純利益} + \text{減価償却}}$$

目安: 10年以内

② 借入金対月商倍率

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{月商}}$$

目安: 3ヶ月～5ヶ月

5. 固定・変動金利と情勢

種類	メリット	デメリット
固定	返済額確定 画容易	金利高め 下恩恵なし
変動	金利低め 初負担減	上昇リスク有 返済額未確定

▲金利情勢のポイント

「金利ある世界」への移行期。
返済期間やリスク許容度に応じ、固定・変動のバランス検討が重要。

経営計画策定セミナーのご案内

融資に強い会社を作る！ 金融機関が応援したくなる事業計画とは？

①こんなお悩みはありませんか？

- ✓ 資金繰りに追われ、本業に集中できていない
- ✓ 新たな設備投資をしたいが、融資の進め方が不安
- ✓ 銀行員に決算書の内容をうまく説明できない
- ✓ 金融機関との交渉を有利に進めるポイントを知りたい
- ✓ 客観的な数値で自社の格付けを把握したい
- ✓ 個人保証が外せなくて、事業承継が進まない
- ✓ 将来のために、根拠のある経営計画を策定したい

▼ そのお悩み、本セミナーですべて解決します！

セミナー内容

【第1部】融資の種類と選択

企業の状況に合わせた最適な資金調達

【第3部】経営計画の重要性

目標明確化と資金繰り改善のメリット

【第2部】評価・保証・担保

個人保証・保証協会（保証区分）・担保（預金・不動産）、事業性評価

【第4部】評価される計画

自己査定区分（格付け）を意識した数値計画

開催概要

📅 2026年1月22日（木）

🕒 15:30 ~ 17:00

📺 完全オンライン (Zoom)

💰 参加費無料



<https://forms.gle/Dd3usiuU5sPmRBum8>